

# 会報

謹んで新年のお慶びを申し上げます

# 防火管理

## 第90号

小千谷地域防火管理協会

会長 宮川 洋 祐

副会長 丸山 謙 一

副会長 伴 雅 史

## 火を消して 不安を消して つなぐ未来

(2023年度 全国統一防火標語)



(山本山雲海)

### 主な記事

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 防火管理協会会長ご挨拶  | 4 令和5年消防概況   |
| 2 消防長ご挨拶       | 5 本年度事業トピックス |
| 3 令和4年度優良会員等表彰 | 6 オリジナルうちわ紹介 |
|                | 7 備品紹介       |

## 年頭の御挨拶

小千谷地域防火管理協会

会長 宮川 洋 祐

(株式会社 魚沼電子 代表取締役社長)



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃より当協会の活動に御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年も日本列島は様々な災害に見舞われました。とりわけ印象深い災害としては、一昨年十二月から一月にかけて複数回発生した新潟県下の警報級の大雪です。高速道路の通行止めや車両の大規模な立ち往生など交通障害が発生したほか、人的被害も発生しました。

また、記録的猛暑や大雨が多かった年だったように思います。6月以降、日本各地での大雨による被害が相次ぎました。河川氾濫や土砂崩れ、家屋の浸水害などが発生し、多くの尊い命も失われました。ニュース映像を見るたびに自然災害の恐ろしさを再認識させられたとともに、「大ごと」とせず、自分ごと」として備えていくことが求められていると感じました。

小千谷市消防本部管内における昨年の火災状況をお聞きたところ、梅雨明け以降、雨が降らなかったことに影響してか、8月の火災発生件数が例年よりも多かったそうです。1年間の火災件数は10件と昨年と同数でしたが、5年前からは右肩下がりとなっております。引き続き、火災の発生を防ぐためにも、自分の事業所は自分達で守る」という基本理念を確認し、日頃より火災予防や防火知識の普及に努めていただきたいと思えます。

次に、昨年の当協会の活動においては、新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことにより、徐々にではありますがコロナ前の活動に戻つつあります。甲種防火管理新規講習、2回の普通救命講習や春・秋の火災予防運動における事業といたしまして、

「1日消防署長」防火イラスト・書道展」等を開催しました。

中でも、「1日消防署長」では、小千谷小学校の児童2名によるはしご車での管内防火広報、本町商店街において防火のお願いを行い、市民の皆様への防火意識の普及と啓蒙に努めました。

また、昨年に引き続き わくわく消防教室」と致しまして地震体験車で市内の幼稚園、保育園に赴き、地震の体験をしていただき好評を得ました。

当協会は、これらの活動を通じ幼年防火委員会、危険物安全協会、婦人防火クラブ、自主防災組織連絡協議会及び小千谷市消防団並びに消防本部との連携を深め、市民の防火意識の普及、啓蒙に努めていきます。会員の皆様におかれましては、今年の活動においても一層の御支援と御協力を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。末筆となりましたが、皆様の御多幸を心より祈念し、年頭の御挨拶と致します。

## 新年の御挨拶

小千谷市消防本部

消防長 村山 博

(小千谷地域防火管理協会 顧問)



輝かしい令和6年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、平素から防火思想の普及をはじめ、消防用設備・施設等における防火管理体制の確立など、多岐にわたる業務を通じて「安全・安心」の確保にご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、数々の大きな波となつて猛威を振るつておりました新型コロナウイルス感染症も、昨年5月に感染症5類に移行してからは、感染力の低下とともに世の中が徐々に落ち着きを取り戻し始めましたので、当協会事業に

つきましてはお陰様で順調に遂行しているところであります。中でも、一昨年より取り組んでおります住宅用火災警報器(以下、住宅防火推進事業)では、住宅モデル地区に指定するご町内を対象に、小千谷防災施設保守協同組合様と連携して機器の役割とその重要性について説明会を開催し、設置率の向上に努めた次第であります。

当市において、過去に石油ストーブの上にかかっていた洗濯物が落下し、住警器のおかげで早期に発見し消火することができた奏功事例もございますので、今後も継続して、一人暮らし高齢者宅への設置と併せて、地元の自主防災会や町内会のご協力を得ながら普及促進に努めて参りたいと考えております。

一方、昨年を振り返りますと、夏の天気予報では連日、最高気温とともに暑さや熱中症に対する注意報道が流れ、特に「猛暑日」と予報される日が多くなりました。気象庁は、最高気温が35℃以上になれば猛暑日、30℃以上35℃未満であれば真夏日と区分しておりますが、そもそも「猛暑日」という言葉は、2007年の予報用語改正により「猛暑日・熱中症」の言葉が誕生したとのことであります。

また、世界各国が熱波に見舞われた7月には、国連のアントニオ・グテーレス事務総長が世界の平均気温が観測史上最も高い月となったことから、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が来た。」と警告を発出し注目されました。

諸外国の平均気温とは比較になりませんが、当市においても昨年の熱中症搬送件数は29件と前年に比較して12件増であり、過去2番目に多い件数となりました。

近年、災害級とも表現されるようになった暑さに対して、当消防本部といえども、普通救命講習や広報媒体等を活用しながら市民の皆様にご注意を促していく所存であります。

結びに、小千谷地域防火管理協会と会員事業所の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、また、本年が災害のない平穏で幸多き1年でありますことを祈念申し上げます、年頭のあいさついたします。



**令和四年度優良会員等表彰**

防火管理について、他の模範となる優良事業所及び優良防火管理者等が表彰されました。

**【優良防火管理者表彰】**

統括防火管理者として、防火対象物全体の防火管理を的確に遂行していること、消防計画に基づく定期的な自衛消防訓練を熱心に実施していることなどの功績により受賞されました。

(規則第4条第1項第1号該当)

○小千谷市 城内  
小千谷市総合産業会館 サンプラザ  
統括防火管理者 平澤 勝佳 様  
(写真 前列左側)

**【優良事業所表彰】**

消防用設備が適正に維持されていること、職員の防火意識が高く、消防計画に基づく定期的な自衛消防訓練を熱心に実施していることなどの功績により受賞されました。

(規則第4条第1項第3号該当)

○小千谷市 川井  
社会福祉法人  
ほのぼの小千谷福祉会 様  
(写真 前列中央、右側)

**【住宅防火モデル地区無火災表彰】**

令和四年度の当管内の住宅防火モデル地区として指定を受け、地域住民の防災意識の高揚に努め、一年間の無火災を達成されたことにより受賞されました。

(規則第4条第1項第4号該当)

○小千谷市  
一之町一区 町内会 様

一之町二区 町内会 様

一之町三区 町内会 様

一之町四区 町内会 様

一之町五区 町内会 様

片貝山屋 町内会 様

鴻 巣 町内会 様

○長岡市川口地域  
川口中山 町内会 様

# 令和5年消防概況

## 火災概況

### 出火件数 (速報値)

※ ( ) 内は前年数

#### 出動全体

小千谷市 7件 (9件)  
川口地域 2件 (1件)  
高速道路 1件 (0件)

### 火災種別

#### 建物火災

小千谷市 3件 (4件)  
川口地域 0件 (1件)

#### 車両火災

小千谷市 1件 (2件)

川口地域 1件 (0件)

高速道路 1件 (0件)

#### その他火災

小千谷市 3件 (3件)

川口地域 1件 (0件)

#### 林野火災

小千谷市 0件 (0件)

川口地域 0件 (0件)

### 出火原因 (速報値)

出火原因は左表のとおりです。

出火原因	件数
排気管	1
たき火	2
コンデンサー	1
ブレーキの火花	1
落雷	1
交通機関内配線	1
不明	2
調査中	1
合計	10

### ◎火災概況における傾向

令和5年の火災件数は10件で、前年と比較する増減はありません。

建物火災は前年より2件減少し、3件となっています。

死傷者数は、死者0名、負傷者2名の計2名発生しています。

出火原因を見ると、「たき火」が原因の火災が2件発生しています。いずれも、消火をせずにその場を離れたことにより火災に発展したものと考えられます。

少しの不注意が大きな事故につながります。各事業所やご家庭においても、暖房器具や火気の取扱いにはご注意をお願いします。



―救急概況― (速報値)

◆救急出場件数 ※( )内は前年数

出場全体 1,727件 (1,754件)

小千谷市	1,526件 (1,567件)
川口地域	190件 (175件)
高速道路	11件 (11件)
その他(管轄外)	0件 (1件)

◆事故種別

急病	1,141件 (1,122件)
一般負傷	241件 (281件)
交通	70件 (86件)
その他	275件 (265件)

※その他には、転院搬送、労働災害、自損行為等が含まれます。

◎救急概況における傾向

救急出場件数は1,727件で、搬送人員は1,595名でした。一日平均で見ると、約4.7件出場し、約4.3名を搬送したことになります。

―救助概況― (速報値)

◆救助出動件数 ※( )内は前年数

出動全体 21件 (23件)

小千谷市	15件 (20件)
川口地域	4件 (2件)
高速道路	2件 (0件)
その他(管轄外)	0件 (1件)

◆事故種別

火災	0件 (0件)
交通事故	6件 (13件)
機械による事故	2件 (1件)
水難	2件 (0件)
建物等による事故	4件 (4件)
その他	7件 (5件)

※その他には、山菜採りでの滑落、山岳での事故等が含まれます。

◎救助概況における傾向

救助出動件数21件のうち救助人員は14名でした。交通事故による出動が6件で全体の約29%となりました。その他は、山菜採りでの事故が多くを占めています。

# 令和5年度事業トピックス

## 住宅防火モデル地区

小千谷市は旭町、長岡市川口地域は川口中山(野田地区)がそれぞれ「住宅防火モデル地区」の指定を受け、4月から火災予防に努めていただいております。当協会もモデル地区にのぼり旗や火災予防啓発ティッシュの配布等を行い、火災予防に協力しています。

## 住宅用火災警報器設置事業

火災予防運動の実施に伴い、小千谷市社会福祉協議会、女性消防団員、東北電力株式会社と共に、一人暮らし高齢者宅を訪問し、火の元点検及び住宅用火災警報器の点検を行い、11世帯に計12個の住宅用火災警報器を新たに設置しました。



## 一日消防署長拝命

4月5日(水)小千谷市立小千谷小学校六年生2名が一日消防署長に任命されました。宮川会長と防火チラシ等を配布し火災予防の普及啓発を図りました。

### ● 辞令交付の様子



「一日消防署長を体験して」

井口 陽菜

わたしは一日消防署長を体験して心に残ったことが三つあります。

一つ目は、制服です。着用するとき制服を見て、これはちゃんと着なくてはいけないな、と思いました。見た感じはかっこよくて、あまり着たことがないような制服だったので新しかったです。

二つ目は、はしご車です。わたしは六・三メートル、約二階のところまでこわくなくてしまいました。心美さんは三十メートル、約十階まででゆうで行っていたのです。すごいと思いました。消防士さんにも、怖いと思っている人はいるのかな、と思いました。

三つ目は、通信指令室です。通信指令室では、小千谷市内のたぐさんの情報が出てびにうつついてすごく頭の中がおいつきません。あんなに多くの情報を見ているなんてすごいなと思いました。

他にもいろいろな体験ができて本当に楽しかったです。体験したことをこれからも生かしていきたいです。火を使うときは、目をはなさないようにするなどして、

何かに燃えうつらないように気をつけたいです。(原文のまま引用)  
● はしご車試乗体験の様子



一日消防署長の井口陽菜さん

### ● 防火チラシ等の配布の様子



「一日消防署長を体験して」

横山 心美

私は一日消防署長を体験して心に残ったこと、よかったことが三つあります。

一つ目は、責任感をもてたことです。始めに制服を着て、いつもよりもシャキッとして、これから一日消防署長をやるんだなど、少しワクワクしました。消防士の制服は、父が着ていて、少しあこがれていたもので、自分も着ることができてうれしかったです。辞令交付式では少しきんちようしました。

二つ目は、はしご車の防火広報と本町の防火広報をしたことです。はしご車に乗って周りの人達に「火に気をつけてください。」と呼びかけていると、手をふってくれた人たちがいてうれしかったです。本町での防火広報はティッシュやボールペン、チラシなどを配りました。もらってくれた人達が笑顔で受け取ってくれたので、とてもうれしかったです。

もう一人の消防署長体験のほうには、本物の署長さんが一緒に行っていました。でも、あまり人が来なかったそう

です。

三つ目ははしご車に乗ったことです。私はあるなりに高い所に行ったのは初めてなので、すごくワクワクしました。本当はもう少し高くまで行きたかったです。

今回はいろいろな体験ができて本当よかったです。この一日体験をさせてくださった方々にとっても感謝しています。これからもこの経験を生かして過ごしていきたいです。(原文のまま引用)

●はしご車試乗体験の様子



一日消防署長の横山心美さん

●防火チラシ等の配布の様子



# わくわく消防教室

秋の火災予防運動に併せ、11月8日（水）、9日（木）に小千谷市幼少年防火委員会主催の「わくわく消防教室」が開催されました。

今年度は、つくし幼稚園、すみれ保育園、西保育園（3施設とも当協会加入事業所）を訪問し、消防車両展示、起震車体験、濃煙体験、防災ダッククイズを実施し、防災の大切さを伝えました。園児の皆さんは、真剣なまなざしで、消防職員の話しに聞き入っていたそうです。

いつ発生するか分からない大災害に備え、幼少期から防災について学ぶことはとても重要なことです。来年度以降も継続して、同様の事業が開催されるとのことです。

当協会も本事業に協賛し、のぼり旗を掲げました。



● 消防車両展示の様子



● 防災ダッククイズの様子



● 起震車体験の様子

## 普通救命講習

6月9日(金)、9月26日(火)に桜町のサンラックおぢや」において、普通救命講習が開催されました。第1回目は22事業所から37名、第2回目は11事業所から23名の方が受講し、救命に必要な知識と技術を習得しました。

普通救命講習は、2年ごとの受講を推奨しています。また、救急講習は事業所での開催も可能です。希望される事業所は、当協会事務局までお問い合わせください。

なお、第3回目は定員40名で1月26日(金)にサンラックおぢやで開催予定です。



## 甲種防火管理新規講習

7月13日(木)と14日(金)の2日間、サンラックおぢや」において、甲種防火管理新規講習を実施し、48名(当協会加入事業所20名)の方から受講していただきました。

近年では、工場や福祉施設、雑居ビル等で多くの死傷者を伴う火災が発生しています。被害を拡大させる要因の一つが防火管理体制の不備とされています。

新たに資格を取得された皆様には、これからそれぞれの事業所において、防火管理者として、適切な防火管理業務の遂行に努めていただきますようお願いいたします。

なお、2月15日(木)に消防本部において、甲種防火管理再講習を開催予定です。

大規模な特定防火対象物等の防火管理者は、消防法令の改正等を把握し、防火管理業務を適切に実施するために必要な知識の更新が必要とされ、5年ごとに再講習の受講が義務付けられています。

## 防火イラスト・書道展

市内の保育園、幼稚園、小学校から、防火イラスト・書道合わせて378点の作品の応募がありました。秋の火災予防運動期間に併せて、サンプラザ様にご協力をいただき、作品を展示しました。



# オリジナルうちわ制作

住宅用火災警報器の普及啓発と10年を目安に交換の推奨を目的にオリジナルうちわを制作し、行事や講習会などで配布し住宅用火災警報器についてPRしました。

住宅用火災警報器は火災発生を早期に知らせ、逃げ遅れを防ぐために有効な機器です。有事の際に正しく作動しなければ何の役にも立ちません。定期的に作動確認を行い有事に備えましょう。

また、機器は古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなったり、故障しやすくなります。安心・安全のために10年を目安に交換しましょう。



## 10年たったなら、とりカエル。

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで、**火災を感知しなくなったり、故障しやすくなります。**安心・安全のために、定期的に作動をテストし、10年を目安に交換しましょう。

**正常に作動するか、定期的にテストしよう！**

ボタンを押す、または引きひもを引いて作動確認をしてください。

**正常な場合は？**  
正常をお知らせするメッセージ、または火災警報音が鳴ります。

ビビ、  
ピーピーピー

ピーピー 正常です  
など

注)警報音はメーカーや製品により異なります。

**音が鳴らない場合は？**  
電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。

…

しーん

●それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

**とりカエルのサイトで音を確認できます！**

メーカーや製品ごとの住宅用火災警報器のプザー音を、パソコンやスマホで確認できます。

とりカエル プザー音 検索  
で検索してください。

※サイトでは、一部の製品を紹介しています。

# デジタルカメラと水消火器を購入

デジタルカメラは、平成24年度に購入したデジタルカメラの更新となります。各事業や講習などの様子を撮影し、会報などに掲載し広報活動に活用して参ります。最新のカメラは画質も機能も優れており、綺麗な写真をとることができます。

水消火器は、各事業所の自衛消防訓練の消火訓練や自主防災会の防災訓練等に使用するものです。従来は、日本消防協会からの寄贈品や危険物安全協会の購入品を使用していましたが、経年劣化により破損が目立つようになったため、新たに当協会で購入させていただきました。

水消火器は、消火薬剤の代わりに水を使用しますが、見た目や操作方法は本物の消火器と変わりません。火災発生時は、素早い初期消火で被害を最小限に食い止めることができます。有事に備えて、日頃の取扱い訓練が重要です。

なお、水消火器は、事業所や団体に対して無償で貸し出しをしております。水消火器の貸し出しを希望される場合は、当協会事務局までお問合せをお願いします。



～地震により被災された皆さまへ～

この度の令和6年能登半島地震で被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

会報 防火管理 第90号

発行日 令和6年1月1日

編集 小千谷地域防火管理協会 事務局

小千谷市城内3丁目1番9号

小千谷市消防本部予防課内

TEL (0258)-83-0238 (直通)

FAX (0258)-82-0209

E-Mail [syobou-yobou@city.ojiya.niigata.jp](mailto:syobou-yobou@city.ojiya.niigata.jp)